

磁器タイル仕様の床

防滑性

耐候性

乾燥性

水性

タイル床面の滑り止め水性工法

F★★★★

スキッドガードAQUA

S K I D G U A R D A Q U A

これで雨の日も安心!

塗装によるタイル床面の安全対策!!

水性になり、施工中の臭いも気になりません!



AQUA

上のQRコードから
スキッドガードAQUAの
プロモーション動画を
ご覧いただけます。



Isamu

スキッドガードAQUA

SKID GUARD AQUA



● 雨に濡れたタイルを**安全に!**
タイル床面の**スリップ**を防止します!!

適用用途

玄関アプローチ・通路・
公園・駅・屋内施設などに

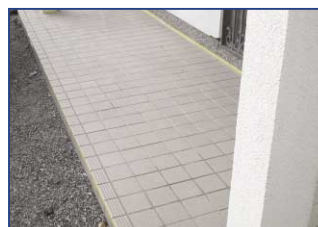
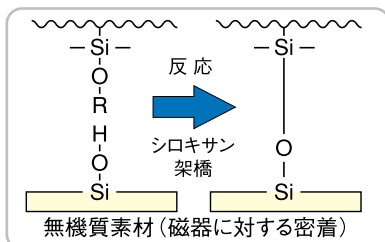
適用素材

磁器タイル・御影石・塗床材

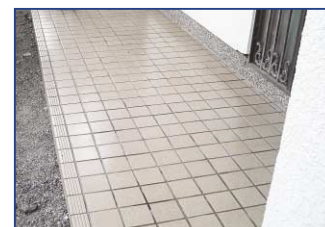
(注意)・実際の施工にあたり、事前のテスト施工をお勧めします。
・レンガ調タイル、大理石、鏡面セラミックタイル等への施工はできません。

スキッドガードAQUAの特長

- 水性でありながら乾燥性に優れているため常温(23℃)で塗装後、約4時間で歩行可能となります。(1回塗りの場合)
- 水性のため、施工中・施工後の臭気の問題がありません。店舗などにも最適です。
- 透明な塗料と専用骨材の組み合わせにより、今あるタイルの風合いを損ないません。
- 耐候性に優れたアクリルシリコン樹脂の採用により、外部でも変色がほとんどありません。
- 下塗り(プライマー)なしで直接タイルとの密着性に優れています。



施工前



施工後

- 雨などで濡れた状態でも充分な滑り止め効果を発揮します。
※東京都福祉のまちづくり条例施設設備マニュアルでは、原則として下足で歩行する部分は0.40~0.90C.S.R.となっています。C.S.R.値については右ページ物性試験欄に記載しております。

施工前



● 施工前は雨に濡れたタイルが滑りやすい状態

スキッドガードAQUA 施工後



● 施工後は耐久性に優れた滑りにくい安全な状態

施工とメンテナンス

スキッドガードAQUAは施工前の「下地処理」から施工後の「アフターメンテナンス」に至るトータルでの施工をご提案いたします。

下地処理



今の汚れを洗浄剤で除去する「下地処理」。

施工



簡単・早い作業で通行止め期間を短くできます。施工後は「安心・安全」なタイルに生まれ変わります。

メンテナンス



施工後は通常の簡単なメンテナンスを定期的に行なうことによりきれいな状態を維持することができます。

塗装仕様

使用状況・歩行頻度によって以下の仕様から現場に合わせた塗装仕様を選択できます。

■標準仕様

[スキッドガードベース (L) :樹脂製ビーズ]

製品名	調合比	希釈率 (%)	塗布量 (kg/m ²)	塗回数 (回)	塗装方法	乾燥時間 (23℃)
スキッドガードAQUA スキッドガードベース (L)	主剤:ベース 100:5	清水 0~10	0.12~0.15	1~2	ローラー 刷毛など	(塗り重ね) 2~24時間 (歩行可能) 4時間以上

※スキッドガードAQUAの仕上りは半ツヤとなります。(タイル形状によりツヤの加減が異なる場合があります)

※塗装回数は、使用状況・歩行頻度によって2回塗りをお勧めします。

■防滑性向上仕様

[スキッドガードベース (H) :アルミナ製ビーズ]

製品名	調合比	希釈率 (%)	塗布量 (kg/m ²)	塗回数 (回)	塗装方法	乾燥時間 (23℃)
スキッドガードAQUA スキッドガードベース (H)	主剤:ベース 100:12	清水 0~10	0.12~0.15	2	ローラー 刷毛など	(塗り重ね) 2~24時間 (歩行可能) 4時間以上

※スキッドガードAQUAの仕上りは半ツヤとなります。(タイル形状によりツヤの加減が異なる場合があります)

※厚塗りするとスキッドガードベース (H) が沈むため、十分な防滑性が得られない場合があります。

塗料性状

	スキッドガードAQUA	スキッドガードベース (L)	スキッドガードベース (H)
性状	半透明液体	粉末	粉末
可使時間		なし	
消防法	非危険物	表示なし	表示なし

荷 姿

	大面積用	中面積用	小面積用
スキッドガードAQUA	15kg	4kg	1kg
スキッドガードベース (L)	750g	50g×4	50g
スキッドガードベース (H)	1.8kg	120g×4	120g
標準塗り平米数	100~125m ²	26~33m ²	6~8m ²

※上記の標準塗り平米数は標準仕様 (1回塗り) の場合となります。



物性試験

試験項目	標準仕様 (2回塗り)	防滑性向上仕様	試験条件	
軽歩行可能時間	4時間 (23℃)		軽度な歩行による状態確認	
耐摩耗性	61.3mg	37.4mg	JIS K 5600-5-9 テーバー式磨耗試験 (荷重:500g、回転数:1000回転)	
1次密着性	分類0 (25/25)		JIS K 5600-5-6	
耐水性	外観	異常なし	目視	
	2次密着性	分類0 (25/25)	JIS K 5600-5-6	
温冷繰り返し	外観	異常なし	目視	
	2次密着性	分類0 (25/25)	JIS K 5600-5-6	
耐滑り性	乾燥面	0.66 C.S.R.	0.77 C.S.R.	JIS A 1509-12
	湿潤面	0.54 C.S.R.	0.58 C.S.R.	JIS A 1509-12

防滑性について

C.S.R.値は東京工業大学で研究開発された耐滑り性試験機を用いて「人が歩いた時の感覚を最も忠実に数値化したすべり抵抗係数」を指します。日本建築学会のC.S.R.推奨値として、0.40~0.90C.S.R.が下足で歩行する際の滑りの安全範囲となっています。近年、床面の安全性を確保するために条例などでも採用されることが増えています。

注 意 事 項

■下地の種類

- 磁器タイル(吸水率区分I種のタイル相当)・御影石・2液反応型塗床材およびモルタル目地を標準とします。これら以外の適用については別途ご相談ください。
- ※塗床材への施工は、必ず施工可能かどうかの確認を実施してください。
- レンガ調タイル、大理石、鏡面セラミックタイルへの施工はできません。

■下地の状態

- 下地は洗浄剤(洗剤・薬品)や高圧水洗などで洗浄し、清浄な状態としてください。
- ※目地部が劣化している場合、エフロレッセンスが発生している場合があります。必ず除去するようにしてください。
- 下地は充分に乾燥させてください。

■気象条件

- 降雨・降雪・夜露・凍結が予想される場合は、適切な処理をするか施工を避けてください。
- タイル表面温度が5℃以下になる場合には施工を避けてください。
- 強風時には材料が飛散したり汚染物が付着し塗装面を汚す恐れがあるため、作業を中止するか適切な処置を講じてください。

■洗浄作業における注意事項

- 洗浄に使用した薬品や洗剤は水洗により完全に除去してください。残存成分が塗膜に影響を及ぼすことがあります。
- 薬品や洗剤の飛散・付着により、住人や通行人、近隣に対して影響を与えないように注意してください。
- 洗浄しても除去できない汚れがある場合、スキッドガードAQUAを施工すると汚れが目立つ場合があるので注意し、事前に施工主の了承を得るようにしてください。

■下地処理における注意事項

- 改修工事における下地処理は物件によりそれぞれ異なるため、事前に調査し、その物件に応じた下地処理の特記仕様を作成し、承認を得てから工事に着手してください。

■使用材料

- スキッドガードAQUA主剤は艶消し剤を配合している為、あらかじめ均一に攪拌してください。
- 材料を小分けして使用する場合は、秤(最小目盛が10g以下)を使用して正確に計量してください。
- スキッドガードAQUA主剤と骨材を混合する際は、充分に攪拌してください。特にスキッドガードベース(H)は比重が重く、塗料中に沈降しやすくなる為、充分な攪拌が必要です。
- スキッドガードベース(L)はスキッドガードAQUA専用の骨材になります。他塗料への転用はできません。
- スキッドガードADに使用しているスキッドガードベースはスキッドガードAQUAでは使用できません。
- スキッドガードベース(H)はスキッドガードAQUA、スキッドガードAD専用の骨材になります。他塗料への転用はできません。
- 骨材(スキッドガードベース(L)、(H))を混合した材料は保存ができません。骨材が塗料中で沈降し、ほぐれにくくなります。ご使用の際は、必ず使用量にあわせて調合し、使い切りとしてください。
- スキッドガードベース(H)ご使用の場合は、塗装1回毎に調合して使い切りとしてください。
- 骨材を混合していない塗料は保存の際、容器内側の縁に皮が張った状態で固まる場合があります。その場合は固まった塗料を除去してから使用してください。

■施工について

- 塗装回数により艶感が変わる為、施工時には塗装回数を合わせる必要があります。
- スキッドガードAQUAの塗装により、目地モルタルは濡れ色になります。目地の吸い込み差がある場合、濡れ色の程度に差異が見られる場合があります。
- 塗布量が少ない場合、多すぎる場合、充分な防滑効果が得られない可能性がありますので、標準塗布量を守って塗装してください。
- 一度に厚塗りをすることは避けてください。水性塗料である為、一度に厚塗りをすると水分が塗膜中に残り、ワレ等の不具合を起こす可能性があります。
- 一度に厚塗りをすると、骨材が塗膜表面に出にくくなり、防滑効果が得られにくくなります。
- 施工後、マスキングを剥がす際は、塗り終わり直後、または歩行可能な状態まで乾燥した時点で作業を行ってください。塗膜が乾燥している途中段階でマスキングを剥がすと、マスキングと共に塗膜が剥がれる可能性があります。
- シンナーなどがかる等、耐溶剤性が求められる場所への施工はできません。
- 水が常時溜まるような場所への施工は避けてください。
- 屋外用途で塗装する際、降雨または降雪のおそれがある場合は、施工を避けてください。

■材料の保管および廃材の取り扱い

- 火気やスパーク、高温物のあるところでは使用しないでください。
- 取り扱い作業所には、局所排気装置を設けてください。
- 塗装中、乾燥中とも換気を良くし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中は、できるだけ蒸気の吸入を避け、皮膚にふれないようにしてください。必要に応じて、有機ガス用防塵マスクや送気マスクを着け、さらに、頭巾、保護めがね、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋、前掛けなどを着用してください。
- 塗料の付着したウエスや塗料かすなどは、必ず廃棄するまで水につけておいてください。
- 取り扱い後は手洗いがいを充分にしてください。
- 容器からこぼさないように取り扱ってください。
- 貯蔵の際は、必ずフタをして、0℃以上40℃以下の場所に保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使い切ってから廃棄してください。
- 塗装以外の用途には使用しないでください。
- 指定された以外の材料と混合しないでください。
- 呼吸器や皮膚が敏感なアレルギー体質の方は、この塗料を使用する作業にたずさわらないでください。
- 材料の保管は、直射日光の当たらない、風通しの良い場所で保管してください。

※廃棄する場合は産業廃棄物として処理してください。
※詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート(SDS)を参照してください。

■塗装後の清掃について

- 洗浄剤を使用する場合は、中性洗浄剤をご使用ください。酸性、アルカリ性、アルコール等含有している準水系洗浄剤を使用すると、塗膜をおかす可能性があります。

●お問い合わせ先 イサム塗料株式会社 滋賀工場 〒525-0072 滋賀県草津市笠山8-2-1 TEL.077-562-1360 FAX.077-562-1364

ISO 9001 JQA-QM4745
ISO 14001 JQA-EM0854

ISAMU イサム塗料株式会社

東京支店 〒335-0014 埼玉県戸田市喜沢南1-5-37 TEL:048(444)0136 FAX:048(444)0138
名古屋支店 〒452-0824 名古屋市西区こも原町82 TEL:052(502)0136 FAX:052(502)0174
大阪支店 〒532-0035 大阪市淀川区三津屋南3-9-8 TEL:06(6308)1363 FAX:06(6308)1348
福岡支店 〒811-2304 福岡県粕屋郡粕屋町仲原2777-1 TEL:092(611)1360 FAX:092(623)8430
仙台出張所 〒983-0034 仙台市宮城野区扇町4-2-21 TEL:022(206)6136 FAX:022(208)5136
滋賀工場 〒525-0072 滋賀県草津市笠山8-2-1 TEL:077(562)1360 FAX:077(562)1364
札幌 TEL:011(823)1360 広島 TEL:082(291)1234

<http://www.isamu.co.jp>

イサム塗料

検索



●このカタログ内容に関するお問い合わせは最寄りの営業所又は代理店へご連絡ください。

●インキ:大豆油インキを含む植物油インキ

カタログ No.CA035-19-02

05-45